ふりがな　　ささくら　かずひろ

氏 名　　**笹倉　一広**

1. 学歴

1982 年　3 月　東京大学文学部卒業

1982 年　4 月　東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学

1985 年　3 月　同修了

2. 職歴・研究歴

1987 年　4 月　東京大学文学部助手（1991 年 3 月まで）

1991 年　4 月　静岡大学教養部講師

1992 年　4 月　静岡大学教養部助教授

1995 年 10 月　静岡大学情報学部助教授（1997 年 3 月まで）

1996 年　4 月　一橋大学経済学部助教授

1999 年　4 月　一橋大学大学院経済学研究科助教授（2007 年 4 月より准教授）

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

中国研究入門，中国の言語と文化，中国思想論，中国文学論，クラス中国語，中国語中級，中国語上級，経済文化C（中・露）

（b）大学院

各国経済思潮 A・B

B. ゼミナール

学部後期（共通ゼミ），大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部の語学講義では，使える実践的な語学を目指している。初級は会話主体の授業で，IT を活用し，クラスのホームページを開設し，音声・画像教材，補充問題の提供，関連情報の提供，授業の小テストの即日成績フィードバックや講評を行っている。学部前期向けの「研究入門」では，最近ないがしろにされている中国の古典文化の知識をひととおり正確に身につけることを目標にしている。また共通教育の言語文化科目は国際社会での日本人としての中国古典に対する教養の涵養を目標としている。以上の各講義は，LL 教室や AV 教室の装置を活用し，板書の時間を廃しパワーポイントを使用して授業を行っている。また，それぞれ web サイトを開設し，授業でのプレゼンテーションの利用，関係資料などに学生がアクセスできるようにしてある。後期向けの経済文化では中国古典小説に見られる経済活動の考察を通じて，中国の伝統的な経済思考様式を考えている。学部のゼミナールは中国古典のテキストの輪読形式で読み進めている。

大学院では，サブゼミとしての受講者が主である。中国古典文学の研究方法を院生の研究対象に近い作品を読

む形で指導するとともに，各学生の研究テーマについて個人的相談指導に応じている。

4. 主な研究テーマ

(1)中国古典文学

主な専門分野は古典の小説で，明清の小説を中心に研究している。一方，中国正統文学である詩文を学生に教養として教授する方法も研究している。

(2)中国語教育

1 年生のパソコン所有率およびインターネット接続率がほぼ 100%になった現在，IT を利用した効率的教授方法を模索・試行している。

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文(査読つき論文には*)

＊「『醒夢駢言』と『聊斎志異』」『中国—社会と文化』中国社会文化学会，第 4 号，1989 年，192-206 頁。

「趙起杲の無念—青柯亭刻本の後 4 巻について」『静岡大学教養部研究報告　人文・社会科学篇』第 28 巻第 1 号，1990 年，251-270 頁。

「屠紳と小説に関する覚え書き—『鶚亭詩話』から『蟫史』へ」竹田晃先生退官記念学術論文集編集委員会編『竹田晃先生退官記念東アジア文化論叢』汲古書院，1991 年，407-422 頁。

「中国語および中国研究入門案内」『一橋論叢』第 119 巻第 4 号，1998 年，477-493 頁。

＊「『金瓶梅詞話』の金銭表現についての一考察—銀両表現と合理性を求めての書き換え」『中国古典小説研究』中国古典小説研究会，第 8 号，2003 年，74-81 頁。

「IT を若干活用した中国語授業の試み」『言語文化』第 40 巻，2003 年，21-31 頁。

(d) その他

「書評『歴史と文学の境界』」『人文学研究所報』神奈川大学人文科学研究所，No. 37，2004 年，110-111 頁。

B. 最近の研究活動

(b) 国内研究プロジェクト

「日本近世期における中国白話小説受容についての基礎研究」科学研究費補助金(基盤研究 B)，2007 - 2010 年度，研究代表者。

(d) 研究集会オーガナイズ

中国古典小説研究会 2007 年度大会，2008 年 8 月 28 日-30 日，国民休暇村　近江八幡

中国古典小説研究会 2008 年度大会，2008 年 9 月 2 日-4 日，横浜テクノタワーホテルファミール

6. 学内行政

(b) 学内委員会

入学試験実施専門委員会(2004 年 4 月 - 2006 年 3 月)

一橋大学北京事務所運営委員会(2007 年 4 月 - 現在)

広報委員会(2008 年 4 月 － 現在)

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

聖心女子大学文学部(1996 年 4 月 －2005 年 3 月　非常勤講師)

法政大学通信教育部(2004 年度　夏期スクーリング集中講義)

山梨大学教育人間科学部(2004 年度　集中講義)

明治大学経営学部(2005 年 4 月 － 現在　非常勤講師)

東北師範大学中国赴日本国留学生預備学校(2005 年度, 2006 年度　集中講義)

首都大学東京都市教養学部・大学院人文科学研究科(2007 年 4 月 － 現在　非常勤講師)

(b) 所属学会および学術活動

日本中国学会

東方学会

中国社会文化学会

中国古典小説研究会(2006 年 12 月より会長)

9. 一般的言論活動

「「恩田木工」を読む」『HQ』夏号, Vol. 19, 2008 年 6 月